

平成18年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年2月2日

会社名 **アールビバン株式会社**

(JASDAQ・コード番号:7523)

(URL <http://www.artvivant.co.jp>)

問い合わせ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 野澤 克巳
責任者役職・氏名 経営企画室長 栗田 実

TEL : (03) - 5159 - 7177

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(内容) 引当金の計上基準等につきまして、一部簡便的な方法によっております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(内容) 添付資料で会計処理の方法の変更について詳述。

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有

(内容) 連結(新規)1社

2. 平成18年3月期第3四半期業績の概況(平成17年4月1日~平成17年12月31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(単位:百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第3四半期	7,908	(3.0)	1,057	(8.3)	1,200	(11.4)	303	(37.3)
17年3月期第3四半期	7,675	(8.6)	976	(12.4)	1,077	(8.4)	484	(222.8)
(参考)17年3月期	10,520		1,545		1,697		869	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
18年3月期第3四半期	22 47	- -
17年3月期第3四半期	35 84	- -
(参考)17年3月期	64 26	- -

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示す。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期におけるわが国の経済は、設備投資、企業収益の回復、失業率・有効求人倍率など、雇用指標の改善などに加え、個人消費も回復の兆しが窺われていることから、緩やかな景気回復が見られました。

このような状況のもと当社グループは主に有力作家の開発、催事企画の展開を中心に業績の向上に努めてまいりました結果、当第3四半期連結会計期間の連結業績は、売上高7,908百万円(前年同期比3.0%増)、営業利益1,057百万円(同8.3%増)、経常利益1,200百万円(同11.4%増)、四半期純利益303百万円(同37.3%減)となりました。

尚、当第3四半期の連結業績は、売上高および利益ともほぼ計画通りであります。

アート関連事業

12月に開催した特別優待展『ジャパン・アート・エキスポ』をはじめ、引き続き効率を重視した催事を実施しました結果、売上高は5,492百万円(同3.0%増)となり、営業利益は435百万円(同118.5%増)となりました。

金融サービス事業

割賦債権の取扱高の減少に伴い、割賦繰延利益の収益計上額が減少し、売上高は 1,014 百万円（同 5.1%減）となり、営業利益は 590 百万円（同 18.8%減）となりました。

リゾート事業

日本で初めての本格的なタラソテラピー施設を持つ『タラサ志摩ホテル&リゾート』においては、宿泊や料飲の売上が好調だったもののブライダルやショップの売上が低調だった事もあり、売上高は 1,258 百万円（同 1.4%減）、一方、販売管理費の圧縮等により営業利益は 79 百万円（同 491.8%増）となりました。

その他の事業

子会社インテグラルビューティー(株)によるヨーガ教室は順調に会員が増加しており、また家具・インテリア販売事業も仙台・札幌店を中心に売上は順調に伸びておりますが、いずれも事業を始めて間もないこともあり、売上高は 159 百万円、営業損失は 120 百万円となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第3四半期	23,905	16,405	68.6	1,212 66
16年3月期第3四半期	24,017	16,305	67.9	1,205 31
(参考)17年3月期	24,438	16,762	68.6	1,239 04

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年3月期第3四半期	602	255	1,166	3,138
16年3月期第3四半期	592	55	2,919	2,816
(参考)17年3月期	856	837	2,956	3,938

【財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等】

当第3四半期末における総資産は 23,905 百万円と、前連結会計年度末に比べ 533 百万円減少しております。また、株主資本は 16,405 百万円となり、前連結会計年度末と比べ 356 百万円減少し、株主資本比率は 68.6%と前連結会計年度とほぼ同水準を維持しております。

キャッシュ・フローの状況につきましては、当第3四半期末における現金及び現金同等物は、3,138 百万円と前連結会計年度末と比べ 800 百万円減少しました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当第3四半期純利益 691 百万円、たな卸資産の減少額 518 百万円等あったものの、売上債権の増加額 659 百万円、法人税等の支払額 791 百万円等により 602 百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出 152 百万円、投資事業組合への払込による支出 188 百万円等により 255 百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払 811 百万円、借入金の返済 300 百万円等により 1,166 百万円の支出となりました。

添付資料

(要約)四半期連結貸借対照表、(要約)四半期連結損益計算書、(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書など

以上

[参考] 平成 18 年 3 月期の連結業績予想 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	10,700	1,780	620

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 45 円 83 銭

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループが判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は経済情勢等今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

[業績予想に関する定性的情報等]

平成 17 年 11 月 10 日に公表しました業績予想に変更はありません。

【添付資料】

1.(要約)四半期連結貸借対照表

(単位：千円、%)

科 目	当四半期 (平成18年3月 期第3四半期)	前年同四半期 (平成17年3月 期第3四半期)	増 減		(参考) 平成17年3月 期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
流動資産					
1.現金及び預金	3,138,696	2,816,797	321,899	11.4	3,938,887
2.受取手形及び売掛金	12,382,476	11,394,004	988,471	8.7	11,723,234
3.有価証券	509,072	-	509,072	-	-
4.たな卸資産	1,648,558	2,294,849	646,290	28.2	2,166,790
5.前払費用	749,994	750,338	343	0.0	710,862
6.その他	684,312	770,510	86,197	11.2	578,947
貸倒引当金	3,600	1,600	2,000	125.0	7,700
流動資産合計	19,109,511	18,024,900	1,084,611	6.0	19,111,023
固定資産					
(1)有形固定資産					
1.建物及び構築物	1,313,280	1,296,691	16,588	1.3	1,354,156
2.土地	533,398	551,294	17,896	3.2	551,294
3.建設仮勘定	-	-	-	-	21,733
4.その他	278,716	330,350	51,633	15.6	315,797
有形固定資産合計	2,125,395	2,178,336	52,940	2.4	2,242,981
(2)無形固定資産					
1.連結調整勘定	12,424	62,124	49,699	80.0	49,699
2.その他	62,078	49,971	12,107	24.2	46,000
無形固定資産合計	74,503	112,095	37,591	33.5	95,700
(3)投資その他の資産					
1.投資有価証券	1,861,481	1,179,485	681,995	57.8	2,012,203
2.敷金及び保証金	437,396	384,509	52,886	13.8	464,273
3.その他	353,401	2,199,707	1,846,306	83.9	571,872
貸倒引当金	58,691	61,731	3,040	4.9	59,171
投資その他の資産合計	2,593,586	3,701,970	1,108,383	29.9	2,989,178
固定資産合計	4,793,485	5,992,402	1,198,916	20.0	5,327,860
繰延資産	2,847	-	2,847	-	-
資産合計	23,905,845	24,017,302	111,457	0.5	24,438,883

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：千円、%)

科 目	当四半期 (平成18年3月 期第3四半期)	前年同四半期 (平成17年3月 期第3四半期)	増 減		(参考) 平成17年3月 期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(負債の部)					
流動負債					
1.買掛金	234,604	149,667	84,936	56.8	191,181
2.短期借入金	1,800,000	2,100,000	300,000	14.3	2,100,000
3.未払法人税等	28,610	323,822	295,212	91.2	464,527
4.割賦繰延利益	3,300,555	3,157,997	142,558	4.5	3,136,650
5.その他	1,363,430	1,332,134	31,296	2.3	1,110,567
流動負債合計	6,727,201	7,063,622	336,420	4.8	7,002,927
固定負債					
1.役員退職慰労引当金	293,804	275,137	18,666	6.8	283,191
2.その他	124,156	90,000	34,156	38.0	94,116
固定負債合計	417,960	365,137	52,823	14.5	377,307
負債合計	7,145,162	7,428,759	283,597	3.8	7,380,235
(少数株主持分)					
少数株主持分	355,255	282,590	72,665	25.7	296,367
(資本の部)					
資本金	1,656,000	1,656,000	-	-	1,656,000
資本剰余金	6,598,200	6,598,200	-	-	6,598,200
利益剰余金	9,115,872	9,244,580	128,707	1.4	9,629,154
その他有価証券評価差額金	338,291	110,108	228,183	207.2	181,862
自己株式	1,302,937	1,302,937	-	-	1,302,937
資本合計	16,405,427	16,305,952	99,475	0.6	16,762,280
負債・少数株主持分及び資本合計	23,905,845	24,017,302	111,457	0.5	24,438,883

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

2.(要約)四半期連結損益計算書

(単位：千円、%)

科 目	当四半期 (平成18年3月 期第3四半期)	前年同四半期 (平成17年3月 期第3四半期)	増 減		(参考) 平成17年3月 期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高	7,908,978	7,675,184	233,793	3.0	10,520,009
売上原価	2,804,957	2,613,547	191,409	7.3	3,645,673
売上総利益	5,104,020	5,061,637	42,383	0.8	6,874,335
販売費及び一般管理費	4,046,707	4,085,486	38,778	0.9	5,328,624
営業利益	1,057,313	976,150	81,162	8.3	1,545,711
営業外収益					
1. 保険配当金	-	-	-	-	79,150
2. その他	146,563	115,093	31,469	27.3	97,451
営業外収益合計	146,563	115,093	31,469	27.3	176,601
営業外費用	3,404	13,697	10,292	75.1	24,638
経常利益	1,200,471	1,077,546	122,924	11.4	1,697,674
特別利益	85,462	706	84,755	12005.1	113,249
特別損失					
1. 商品評価損	280,649	-	280,649	-	-
2. ロイヤリティー一時償却費	-	87,000	87,000	-	108,000
3. グッズ販売事業撤退損	119,598	-	119,598	-	-
4. 減損損失	51,408	-	51,408	-	-
5. その他	142,964	73,557	69,407	94.4	89,735
特別損失合計	594,620	160,557	434,062	270.3	197,735
税金等調整前当期純利益	691,313	917,695	226,382	24.7	1,613,189
税金費用	330,589	384,062	53,472	13.9	681,204
少数株主利益	56,761	48,809	7,951	16.3	62,586
四半期(当期)純利益	303,962	484,823	180,861	37.3	869,398

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

3.(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当四半期 (平成18年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成17年3月期 第3四半期)	(参考) 平成17年3月期
区 分	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	691,313	917,695	1,613,189
減価償却費	157,027	118,551	160,671
連結調整勘定償却	37,274	37,274	49,699
ロイヤリティー一時償却費	-	87,000	108,000
売上債権の増加額	659,031	292,430	621,659
たな卸資産の減少額	518,599	-	187,578
割賦繰延利益の増加額	163,904	34,768	13,421
その他	533,689	221,127	1,032
小計	1,442,775	1,123,985	1,509,867
法人税等の支払額	791,288	468,198	562,399
その他	49,070	63,741	91,041
営業活動によるキャッシュ・フロー	602,417	592,046	856,427
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有価証券等の売却償還による収入	-	4,222	139,272
有形固定資産の取得による支出	152,310	104,445	205,020
投資事業組合からの分配による収入	99,538	223,140	644,329
投資事業組合への払込による支出	188,374	51,513	74,466
その他	14,791	126,516	333,719
投資活動によるキャッシュ・フロー	255,937	55,112	837,834
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金減少額	300,000	2,500,000	2,500,000
配当金の支払額	811,706	405,853	405,853
その他	54,605	13,467	50,710
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,166,311	2,919,320	2,956,563
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-	2,006
現金及び現金同等物の増加額(減少額)	819,831	2,382,386	1,260,295
現金及び現金同等物の期首残高	3,938,887	5,199,183	5,199,183
子会社の新規連結による現金及び現金同等物増加額	19,639	-	-
現金及び現金同等物の期末残高	3,138,696	2,816,797	3,938,887

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

4. セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕
当四半期

(単位：千円)

	アート関連事業	金融サービス事業	リゾート事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高	5,492,293	1,014,496	1,258,801	159,331	7,924,922	(15,944)	7,908,978
営業費用	5,056,698	424,224	1,179,609	280,018	6,940,550	(88,885)	6,851,664
営業利益 (又は損失)	435,595	590,271	79,192	(120,687)	984,372	72,940	1,057,313

前年同四半期

(単位：千円)

	アート関連事業	金融サービス事業	リゾート事業	計	消去又は全社	連結
売上高	5,330,147	1,068,600	1,276,435	7,675,184	-	7,675,184
営業費用	5,130,774	341,555	1,263,054	6,735,385	(36,351)	6,699,033
営業利益	199,373	727,044	13,381	939,799	36,351	976,150

〔所在地別セグメント情報〕

当四半期及び前年同四半期

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

当四半期及び前年同四半期

海外売上高は連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

5. 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更内容

(売上計上基準の変更)

連結子会社である株式会社イーピクチャーズの売上高の計上基準は、従来、移動体通信事業者からの月間情報料支払通知書の到来をもって行なっておりましたが、当四半期連結会計期間より利用者に情報を提供したときをもって売上高を計上する方法に変更いたしました。これは事業の立ち上げ期並びに拡大期には、利用者層の多様化及び増加が著しく、同社が一般ユーザーに対し提供した情報の対価として移動体通信事業者を通じて課金(請求)可能な金額並びに回収可能な情報料の割合(回収率)を算定することが困難であると考え、金額が確定する移動体通信事業者からの月間情報料支払通知書の入手時に売上高を計上しておりましたが、事業も安定期に入り、課金可能金額並びに回収率の動向を高い精度をもって把握できる環境が整備されてきたことによるものであります。また、この売上高の計上基準の変更に伴い、対応する売上原価の計上基準を合わせて変更いたしました。なお、変更後の会計処理方法を適用した場合に、前連結会計年度の売上高及び売上原価として計上されるべき金額は、相殺の上、特別利益に80,882千円計上しております。

この変更により、従来の会計処理方法によった場合と比較して、売上高14,591千円、売上原価148千円がそれぞれ少なく計上され、営業利益及び経常利益はそれぞれ14,443千円少なく、税金等調整前四半期純利益は66,438千円多く計上されております。